1 地方創生推進交付金分

No	パッケージ事業名	内訳事業名	事業概要	KPI	現状値 (申請時)	目標値 (H29)	実績 (H29)	達成率	分析	交付金充当額 (千円)	平成30年度 対応状況
1	岩手・宮城・秋田・山形連携による未来を創るものづくり企業等イノベーション創出促進事業	①先進がん医療等コア技術開発推進事業 ②ものづくり中核企業成長戦略推進事業 ③東京オリンピック・パラリンピック需要を契機とした秋田スギフロンティア事業 ④あきた産学官金総結集新産業創出事業 ⑤「秋田の産業を担う」人材育成事業	①医療ニーズに対応するため、「患部組織の薄切技術とがん診断支援画像処理技術の研究開発」など、産学官のコンソーシアムによる新たな機器開発に要するコア技術開発を支援した。 ②地域経済の中核的役割を担うことのできる企業のさらなる成長を促進し、県内産業の活性化を図ることを目的とした「ものづくり中核企業成長戦略推進事業」では、支援対象企業として6社を認定し、成長戦略の策定から新製品・技術の開発など事業化までの一貫した支援を実施した。 ③中大規模建築物における秋田スギの利用拡大を図るため、CLTや木鉄ハイブリッド部材等の強度や耐火性能等を有する革新的な複合材の開発に取り組むとともに、建築士等を対象とした建築講座の開催や技術アドバイザーの配置等により、建築現場へのきめ細かな指導を行い、新たな分野での木材利用を推進した。 ④産学官連携を推進し新産業の創出等の産業活性化に繋げるべく、国立研究開発法人物質・材料研究機構や東京工業大学といった日本でも有数の研究機関と、県内大学、企業等との共同研究を支援した(2プロジェクト)。また、実用化に近づいた研究を進めている県内大学等の研究者がクラウドファンディングにより研究資金を獲得しようとする取組も支援した(1件)。 ⑤情報関連企業で求められている情報活用能力をもつ人材育成を目的に、大館国際情報学院高校、仁賀保高校、大曲工業高校に専門人材を派遣し講義講習を行った(アプリ開発、コーディング手法、プログラミング、ネットワーク構築の学習;実施回数3校計67回)。また、航空機産業人材育成のため、由利工業高校にて県内外の航空機関連企業等の専門人材による特別講義の実施、長期間の技術研修を行った(H29:2社)ほか、他部局と連携し県内外航空機関連企業等の見学会を実施した。	関係各県のものづくり関連分野(航空機、自動車、医療機器)の製造品出荷額等(億円)	1,336	1,600	H30年8月末に判明	-	-	82,132	継続
			関係各県の産業振興施策による雇用機会創出者数(人)	-	150	H30年8月末に判明	-	-			
			関係各県への県外からの移住・定住者数(人)	20	240	607	252.9	首都圏における移住相談や移住情報の発信に加え、移住起業育成プログラムや地域の多様なことと移住支援情報をパッケージ化して紹介するなど、多様な人材への移住を働きかけたことにより、目標を上回る実績となった。			
2	「多様なしごと」で輝く移住促進事業	①「くらしごと」パッケージによる移住促進事業 ②ウエルカム秋田!移住就業応援事業 ③スポーツ王国創生事業 ④移住総合支援事業(移住起業育成事業) ⑤移住総合推進事業(先輩移住者アキタライブ発信事業)	①「地域のしごと」情報を収集し、移住支援策とパッケージ化したプランを作成するコーディネーター2名を配置した。また、移住希望者が実際に現地に短期滞在し、仕事の見学や体験プログラムを実施したほか、パッケージ情報を特設サイトに掲載したPRや、体験プログラム受け入れ事業者と移住希望者をマッチングする交流会を開催した。 ②本県農林水産業への移住就業希望者を対象としたセミナー及び個別相談会を東京都内で12回開催し延べ93名が参加したほか、第一次産業の技術習得を目的とした県内での短期体験研修及び中期実践研修を実施しそれぞれ42名、14名が参加した。また、移住就農者の営農定着に向けたサポート等の経費や研修修了生を雇用した林業事業者の指導費への助成等、移住就業への支援・フォローアップ活動を実施した。 ③(公財)秋田県体育協会に就職推進アドバイザーを配置したうえで、県内企業への求人要請・開拓や就職セミナーを開催するなどの就職支援を行い、求人登録企業27社、求職登録アスリートは8名が登録し、そのうち6名がマッチングに成功した。 ④移住起業によるローカルビジネス立ち上げをサポートするプログラムの実施による移住促進。 ○オリエンテーション(プログラム趣旨説明会)1回66名参加 ○ローカルビジネススクール4回150人参加 ○現地プログラム13名参加 参加者による移住起業募集市町村(北秋田市、能代市、男鹿市、五城目町)の訪問 ○ビジネスプランエントリー13プラン ○ビジネスコンテスト エントリーのあったビジネスプランについて、都内でコンテストを開催し、優秀5プランを選出 ⑤先輩移住者をメンバーとする団体(3団体)との連携による移住者の視点を生かした秋田暮らしの魅力等の情報発信 ○3団体が一堂に会する首都圏交流会の開催(2回94人参加) ○各団体による首都圏交流会の開催(6回106人参加) ○各団体による現地交流会の開催(6回28人参加)	本県への移住者数(県関与分)(人)	20	240	607	252.9	首都圏における移住相談や移住情報の発信に加え、移住起業育成プログラムや地域の多様なことと移住支援情報をパッケージ化して紹介するなど、多様な人材への移住を働きかけたことにより、目標を上回る実績となった。	39,421	継続
			新規就農者確保数+林業への新規就業者数(人)	336	430	H30年9月に判明	-	-			
3	みんなが住み続けるまちづくり推進事業	①秋田版「生涯活躍のまち」推進事業 ②コンパクトなまちづくり推進事業 ③「道の駅」個性創出推進事業 ④「道の駅」中核人材育成事業 ⑤「秋田港クルーズ」まちづくり拠点形成事業	①推進協議会の開催、県内におけるシンポジウムの開催、首都圏における意見交換会の開催及び県内において民間企業等が行う取組に対する補助(CCRCに係る事業化調査や事業取組のPR等)を行った。	CCRC機能を有する住まいへの入居世帯数(世帯)	0	48	0	0.0	CCRCの機能を有する住まいの整備には時間を要することから目標には達していないが、CCRCに取り組む動きが徐々に出てきている。	21,032	継続
			②都市毎のワークショップ開催及びモデル都市の都市構造分析を行った。	CCRC導入取組件数(件)	1	3	1	33.3	CCRCの機能を有する住まい等の整備には時間を要することから目標には達していないが、CCRCに取り組む動きが徐々に出てきている。		
			③市町村が行う実施計画の策定について、費用の一部を補助した(鹿角市「道の駅」かつの)。 ④スキルの質的向上を目的とした人材育成を行った(マニュアル作成・研修の実施)。 ⑤誘致活動等のプロモーション、花火打ち上げ等のイベント開催及びクルーズ受入等に係る人材育成を行った。	立地適正化計画策定市町村(市町村)	0	1	3	300.0	都市構造の分析や県版ガイドラインの作成に加え、まちづくりワークショップや講習会を実施したことにより、目標を上回る実績となった。		

No	パッケージ事業名	内訳事業名	事業概要	KPI	現状値 (申請時)	目標値 (H29)	実績 (H29)	達成率	分析	交付金充当額 (千円)	平成30年度 対応状況
4	秋田総活躍社会実現促進事業	①「あきたテレワーク」による新しい働き方の普及支援事業 ②あきた起業促進事業 ③秋田で輝く女性の起業応援事業 ④第2期あきた元気ムラづくり総合推進事業(GBビジネス拡大展開事業) ⑤子育てしやすい職場づくり推進事業	①両立支援の観点から、テレワークによる新しい働き方を普及拡大するため、テレワーク試行実施企業5社に対し、導入計画の策定から試行の実施までを支援した。また、そうした取組事例の報告会の開催や、取組事例を踏まえ作成したガイドラインの周知により普及啓発を図った。 ②起業スキル習得塾を県内外で11回(159人参加)開催したほか、初期投資費用等を助成する起業支援補助金では、県内在住で起業する方に6件、県外から移住し起業する方に7件の支援を行った。 また、大学生等を対象とした2年間にわたる起業家人材育成プログラムを実施し、オープンイベントに55人、3daysキャンプに22人、実践道場に11人が参加した。 ③秋田の地域資源を活かした新たなビジネスを展開する女性起業者を育成するため、女性農業者10名を対象に11月～2月にかけて座学やワークショップによる研修、さらにステップアップコース(2年目研修)では女性農業者6名を対象に6月～2月にかけて、商品開発の実践や販売実習を行った。また、女性起業者を中心に発展してきた直売所がさらに販路拡大や経営の多角化を図るため、イベントの開催や集客力を向上させる取組6件に対して支援したほか、海の資源活用に関するアドバイザー業務を委託し、適切な助言を受けて、秋田の海の資源を活かした商品開発を行う取組3事業者に対して支援した。 ④高齢者の技と地域資源を活かしたGBビジネスを推進し、集落ネットワークによる天然山菜等の共同出荷体制の強化を図るとともに、惣菜等の加工品開発による通年にわたる販売体制を構築することにより、出荷品目及び売上額が増加した。 ⑤県内中小企業における次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定を促進するため、専門アドバイザーを65社に対して派遣し、行動計画の策定に関する支援等を行った。また、男女ともに子育てしやすい職場環境づくりを進めるため、県内中小企業に対して、仕事と子育ての両立への意識醸成に資する「子どもお仕事参観日」や働き方の見直しの実施を働きかけ、こうした取組を実践する企業をテレビCMやリーフレット等で広く紹介したほか、両立支援の取組の促進を図るため、関係団体をメンバーとする検討会議を開催した。	起業創業による雇用創出数(人)	593	665	517	77.7	県の支援制度を活用した起業は増加傾向にあるものの、雇用を伴わない小規模な起業も多く、十分に雇用の増加に結びついていない。	42,421	継続
			テレワークの導入に取り組む企業等の数(社)	0	2	5	250.0	テレワーク試行実施企業5社に対し、導入計画の策定から試行の実施までを支援した。			
			6次産業化関連販売額(百万円)	11,761	14,110	H31年7月に判明	—	—			
5	「あきた犬」活用による観光地域づくり推進事業	①秋田犬の里魅力アップ促進事業 ②秋田の観光宣伝力強化事業 ③県産品販路拡大対策事業 ④「動物にやさしい秋田」発信事業	①大館能代空港を利用する旅行商品の造成に対して助成をした結果、西日本を中心に観光利用客が増加し、平成29年度の大館能代空港利用者は前年度から7,067人増加し138,584人となった。また秋田内陸線の車両(7両)を、秋田犬をイメージした内外装に改装するとともに、Wi-Fi環境等を整備したことにより、インバウンドを含む観光客の利用増加と県の魅力アップにつながった。 ②「秋田犬」をカラーコンテンツに、首都圏や隣県等における年間を通じた観光キャンペーンを展開するとともに、地域や民間の取組と連携しながら、テーマやターゲット等を絞り込んだ誘客プロモーションを実施した。 ③「東京ソラマチ」において食と観光に関するイベントを開催した。 ④県内各地の観光地やイベント会場で「秋田犬とのふれあい」展示を31回実施し、15,129人が秋田犬とふれあいを行った。	外国人延べ宿泊者数(人)	53,120	76,000	104,660	137.7	全国的に訪日外国人旅行者数が拡大を続ける中で、本県においてもインバウンド誘客プロモーションに注力した結果、目標を上回る伸びを見せている。	99,403	継続
6	秋田版自然公園満喫プロジェクト事業	①秋田版自然公園満喫プロジェクト事業	①県、市町村、観光団体、自然保護団体等が一体となった取組を進めるため、「自然公園活用推進会議」を開催した。また、秋田駒ヶ岳の景観や高山植物等を多言語で紹介する映像を制作し、秋田駒ヶ岳情報センターでの放映や、各種SNS等による情報発信を強化するとともに、県内の自然歩道や登山道等約10箇所の360度映像を撮影し、「Googleストリートビュー」で公開したほか、外国人利用を前提とした安全対策・高質化に向け、田沢湖泡返り県立自然公園内の設備改修を行った。	外国人延べ宿泊者数(人)	53,120	76,000	104,660	137.7	全国的に訪日外国人旅行者数が拡大を続ける中で、本県においてもインバウンド誘客プロモーションに注力した結果、目標を上回る伸びを見せている。	12,602	継続
県立自然公園への観光入込客数(人)	506,005	543,449	H30年8月末に判明	—	—						
7	少子高齢社会における新技術の導入による県民総活躍支援事業	①園芸労働力凄腕サポート実証事業 ②あきたものづくり創生事業	①園芸作物の生産拡大を図るため、パワーアシストスーツの活用による農作業や冬の除排雪作業等の軽労化に向けた実証試験等を行った。 ②高齢者介護施設の見守りサポート機器開発に取り組んだ。情報伝送にはWiFi、電源にはバッテリーを使用するため、設置場所を選ばず、新たな配線工事も必要ない。今後県内企業と事業化を目指す。	主な園芸作物の販売額(百万円)	13,470	18,300	14,508	79.3	えだまめ、ねぎ、アスパラガスの3品目を中心に、“オール秋田体制”で生産・販売対策を集中的に実施したが、6月の低温や7、8月の豪雨災害等により、前年より約15億円減少した。	5,054	①終了 ②交付金事業としては終了するが、県単独事業として継続
パワーアシストスーツのタイプ別実証件数(件)	0	2	3	150.0	・パワーアシストスーツ軽労化実証調査 ①すいか収穫作業 ②樹園地の除排雪作業 ・上腕アシスト器具の軽労化実証調査 ③ぶどうの摘粒作業						
8	「秋田の空」のものづくり拠点形成事業	①新世代航空機部品製造拠点創生事業 ②航空機産業強化支援事業	①平成28年度の1mサイズの平面形状複合材の成果を受けて、引き続き委託事業により技術開発を進め、立体成型にかかる装置開発を進め、立体形状の基本となるL字断面材の成形の成果が得られた。 ②県内企業の競争力強化に向けて、認証取得の支援ではJISQ9100で1社、Nadcapで2社が新たに認証取得したほか、企業の中核を担う人材を育成するセミナーを開催(5回)するとともに航空機産業を担う未来の人材育成として高校生を対象に特別講義やメーカー見学会を実施した。また、企業の参入促進を支援するためアドバイザーによるマッチング支援(6件)等を実施した。	航空機関連の出荷額(千円)	2,600,000	3,500,000	H30年8月末に判明	—	—	42,813	継続
			国際認証(Nadcap)及び航空宇宙分野マネジメントシステム(JISQ9100)認証取得件数(件)	8	10	11	110.0	平成29年度末の認証取得済み件数は、新たに国際認証(Nadcap)2件、航空宇宙分野マネジメントシステム(JISQ9100)1件の取得があり、計11件に達した。			
			特許数(件)	2	4	2	50.0	平成29年度において複合材の立体形状成形の装置開発を進めたところであるが、特許出願に向けて技術的整理を行い、準備を進めているところであり、申請時以後の特許の取得には至っていない。			

No	パッケージ事業名	内訳事業名	事業概要	KPI	現状値 (申請時)	目標値 (H29)	実績 (H29)	達成率	分析	交付金充当額 (千円)	平成30年度 対応状況
9	秋田県地方創生インターンシップ事業	①Aターン協定推進事業 ②秋田を支える人材確保支援事業 ③若者向け定住・定着「ご縁」システム整備事業 ④秋田大好き！魅力深掘り促進事業 ⑤夢実現！高校生ステップアップ事業	①Aターン協定について、本県出身の学生の多い大学3校と新たに締結し、さらには、県内企業が上記校と連携して行う学生採用活動等に係る経費に対して助成した(3企業へ助成)。 ②東京事務所内に設置している「Aターンプラザ秋田」において、Aターン希望者と県内企業とのマッチングを支援したほか、Aターンフェアを開催した(4回、県内154社、Aターン希望者607人参加)。また、合同就職説明会・面接会等の開催(4回、県内企業199社、学生152人参加)や、あきた女子活応援交流会の開催(5回、学生50人参加)及びAターン登録企業向けのセミナーの開催(3回、146人)、大手転職サイトへの求人掲載(45求人)を行った。さらには、県内企業を対象としたインターンシップ促進セミナーの開催(3回、122人参加)、受入ガイドブックの作成、企業動画の制作・配信、県内企業と学生との情報交流会(185人、77社)を行った。 ③「秋田GO！EN」アプリの利用環境の整備のほか、アプリの稼働開始と協力企業の開拓を実施。また、アプリのPRとして、県内高校32校を訪問し、4,340人にアプリの説明を実施した。 ④学生を対象とした秋田でのライフプランを考えるためのセミナーや企業見学会の開催(セミナー11回、見学会12コース、参加学生189人)及び県外学生を対象とした県内企業におけるインターンシップの支援(参加学生32人)を行った。 ⑤就職準備セミナー・コミュニケーションセミナーの実施及び職場定着支援員(4名)の配置による離職防止に向けた支援等を行った。	県内大学生等の県内就職者数(人)	1,200	1,220	981	80.4	首都圏を中心に続く景気回復基調の中で、全国的な人材獲得競争の激化や、売り手市場における学生の大手志向が影響したことによる。	25,399	継続
				インターンシップ参加人数(県関与分)(人)	20	30	32	106.7	インターンシップ窓口を設置するとともに、秋田県就活情報サイトなどを活用して県内のインターンシップの受入企業等の周知を図り、参加人数の確保に努めたことによる。		
				インターンシップ実習受入企業数(県関与分)(社)	90	110	234	212.7	インターンシップ窓口を設置するとともに、秋田県就活情報サイトなどを活用して周知を図り、受入企業数の確保に努めたことによる。		
10	プロフェッショナル人材活用促進事業	①プロフェッショナル人材活用促進事業 ②地域資源活用型事業者基盤強化事業	①主に、県内企業への訪問相談による人材ニーズの開拓と民間人材ビジネス事業者への取り繋ぎを行った。その他、秋田県プロフェッショナル人材戦略協議会及びセミナー(各2回)を開催した。これらの取組を通じ、実績は相談件数173件、民間人材ビジネス事業者への取り繋ぎ件数129件、成約件数35件となった。 ②県内の地域資源活用型事業者55社を訪問し、相談件数45件、民間人材ビジネス事業者への取り繋ぎ件数57件の実績があった。また、北東北三県合同のマッチングフォーラム(東京)を2回開催した結果、27社(県内10社)、24名の参加があり、面談件数は40件(県内18件)となった。	経営者との相談件数(件)	207	212	173	81.6	県内企業128社を新たに訪問し、過去訪問企業を含め173件の相談があった。新規訪問企業数の減少に伴い相談件数も減少しているものの、ニーズ開拓済みの企業から新たな相談もあり、本事業の有効性が認知されているといえる。	31,452	継続
				成約件数(件)	7	10	35	350.0	県内企業への訪問、ニーズのフォロー等の継続により、H28実績(7件)と比較して件数が大幅に伸びている。		
				民間人材ビジネス事業者への取り繋ぎ件数(件)	99	102	129	126.5	事業開始から2年3ヶ月経過し、県内企業への本事業及びプロフェッショナル人材の必要性の周知が進み、高い水準で取り繋ぎ件数が推移している。		
11	地方大学の知見を生かした秋田発グローバルビジネス展開事業	①国際教養大学を起点としたグローバルビジネス人材育成事業	①国際教養大学を起点としたグローバルビジネス人材育成支援会議の開催(参加団体:14団体)、グローバルビジネス展開支援フォーラムの開催(参加者:61名)及び留学生による県内企業3社の訪問と意見交換を実施(参加者数:13人)した。	海外展開に新たに取り組む企業数(社) ※具体的には、海外展開を前提とした継続的な調査、輸出、現地法人設立などに新たにに取り組む企業	16	16	26	162.5	平成29年度は研修プログラムについて、商工団体等との協議及びPRのための事業を実施しており、指標に対する直接的な影響は少ない。	338	継続
12	秋田の素材でつながるローカルイノベーション誘発促進事業	①ローカルイノベーション誘発促進事業	①首都圏の有名企業を代表研究機関とした本県食品関連産業の振興に寄与する2つの研究プロジェクトを採択し、初段の試験、試作の分析を行った。	新規に共同研究に参画した企業数(社)	122	142	168	118.3	研究機関の企業訪問や産学官連携コーディネータの活動等により関係者の交流を推進し、本交付対象事業を含め計画を上回る新たな共同研究機会を得た。	4,664	継続
				本交付対象事業に係る研究開発プロジェクトによって製品化(商品化)された件数(件)	0	0	0	—	本交付対象事業全体として最終的に目指すものであり、初年度の計画は0件としている。		
				本交付対象事業に係る研究開発プロジェクトによって試作品等として評価された件数(件)	0	0	6	100.0	初年度の計画は0件としていたが、共同研究機関の連携により速やかに着手され、小規模ながらも初段の製造・生産試験を行うことができた。		
13	あきた発酵ツーリズム推進事業	①あきた発酵ツーリズム推進事業	①関係団体等により「あきた発酵ツーリズム推進協議会」を設立するとともに、情報発信のツールとなるキャッチコピーやロゴの制作等を行った。	秋田県の延べ宿泊者数(千人)	3,400	3,434	3,346	97.4	少子化等の影響により日本人の国内旅行市場が縮小を続ける一方で、インバウンド誘客市場の取り込みが限定的である本県においては、延べ宿泊者数の減少が続いている。	4,367	継続
				秋田県の外国人延べ宿泊者数(千人)	67	78	105	134.6	全国的に訪日外国人旅行者数が拡大を続ける中で、本県においても目標を上回る伸びを見せている。		
				発酵食品出荷額(億円)	245	250	H30年9月に判明	—	—		
14	高効率電動モーターコイルを核とした自動車部品製造拠点創出事業	①新世代パワーユニット中核拠点創出事業	①モーターコイルの量産体制の構築に向け、平成29年度においては、重要工程と位置づけられる「カチオン塗装」にかかる試験設備設置への支援(1件)並びに工程技术習得への支援(2件)を行った。	県内輸送用機械器具産業の付加価値創出額(百万円)	19,612	19,612	H31年5月に判明	—	—	1,069	継続
				県内輸送用機械器具産業の製造品出荷額等(百万円)	61,850	61,850	H31年5月に判明	—	—		
				交付金事業に係る企業の従業員数(人)	64	64	64	100.0	製造拠点となる工場の建設が平成30年度開始であり、今後操業開始に向けて従業員数が増加する見込みである。		
地方創生推進交付金計										412,167	

地方創生関連交付金を活用した事業に係る実施結果について

2 地方創生拠点整備交付金分

No	事業名	事業概要	KPI	現状値 (申請時)	目標値 (H29)	実績 (H29)	達成率	分析	交付金充当額 (千円)	平成30年度 対応状況
1	木材高度加工研究所研究・開発機能強化事業	1. 耐火試験炉導入事業 新たな木質部材やCLTの耐火性能の検証に必要な耐火試験棟及び耐火試験炉の整備 ・耐火試験棟建築(延べ床面積615㎡) ・柱試験炉整備 ・梁試験炉整備 ・壁試験炉整備 ・2次焼却炉整備 2. 木材加工機導入事業 複合木質部材やCLTを接合するための継手の開発等のための設備の整備 ・高性能切削加工機整備 ・高性能切断加工機整備	素材(丸太)生産量(千㎡)	1,239	1,239	1,484	119.8	平成29年度は施設設備の整備を行っているため、本事業による影響はない。	311,553	終了
			木質耐火部材及び複合木質部材の製造実証回数(回)	0	0	0	—	平成29年度は施設設備の整備を行っているため、実績なし。		
			新たな耐火木質部材の開発件数(件)	0	0	0	—	平成29年度は施設設備の整備を行っているため、実績なし。		
2	田沢湖スキー場の観光集客拠点化事業	1. スキーセンター2階 ラウンジ新設 S造。延床面積210.05㎡。立床面積233.87㎡。 1階部分はピロティ(必要となる屋外設備を配置)。 2. スキーセンターの内装改修、トイレ及びレストランカウンターのレイアウト変更 内装改修箇所はレストラン、エントランスホール、トイレ、ゲストルーム(パウダールームの設置を含む)。 ・レストラン、エントランスホール、ゲストルーム: タイルカーペットの張り替え、県産材を使用した壁面の張り替えなど。 ・トイレ:タイルの張り替え、個室面積の拡張など。	秋田県外国人延べ宿泊者数(人)	59,800	64,000	104,660	163.5	全国的に訪日外国人旅行者数が拡大を続ける中で、本県においてもインバウンド誘客プロモーションに注力した結果、目標を上回る伸びを見せている。	147,913	終了
			秋田県延べ宿泊者数(千人)	3,450	4,100	3,346	81.6	少子化等の影響により日本人の国内旅行市場が縮小を続ける一方で、インバウンド誘客市場の取り込みが限定的である本県においては、延べ宿泊者数の減少が続いている。		
			秋田県観光消費額(億円)	1,396	1,790	1,091	60.9	当該KPIは平成27年実績を基に設定されているが、平成28年より、調査方法を国に準拠して大きく変更したことから、計画と実績の間に乖離が生じている。		
3	森づくり人材育成拠点整備計画	1 林業大学校実習棟建築 ・林業大学校実習棟建築費(実施設計費、実習棟建築工事費、電気設備工事費、給排水設備工事費、地質調査費、設計管理費ほか) ・駐車場整備費 2 森林学習交流館整備 ・学習交流の森造成費(広葉樹整理伐、歩道開設工事費、休憩施設、調整・設計委託費等) ・施設整備費(学習展示室整備費、館内設備模様替え費) 3 森づくり人材育成拠点整備推進事業 ・林業大学校拠点整備(高性能林業機械導入) ・林業体験学習推進費(林業体験プログラム策定費、林業体験型研修機材費、印刷製本費等)	年間素材(丸太)生産量(万㎡)	124	127	148	116.5	木材加工企業において、人工乾燥製品の生産体制が整備され供給力が高まったことや、バイオマス発電所において燃料用丸太の需要が高まったこと等から、素材生産量が増加しており、順調である。	128,169	終了
			林業関係研修の参加者数(人)	3,664	3,764	3,524	93.6	・林業研修センター及び各地域振興局等で、林業関係研修を積極的に実施した。 ・H29年度は、当事業で整備した「林業体験プログラム」をモデル的に小中学校2校を対象に実施した。来年度から本格的な事業実施となる。		
			林業総生産額(千万円)	1,098	1,113	H32年1月に判明	—	—		
4	秋田港クルーズ拠点等整備事業	1. ふれあい空間の創出と利便施設の整備 ・多目的スペース整備 ・屋根付き歩道等整備 ・照明施設整備 2. クルーズ拠点施設の高質化改良 ・ターミナル舗装高質化 ・建築物高質化等 3. クルーズ船受入環境整備事業 ・船舶航行安全検討調査 ・岸壁照査設計	クルーズ船の寄港回数(回)	16	18	25	138.9	秋田港クルーズターミナル等の整備のほか、あきたクルーズ振興協議会による官民一体となった誘致活動や寄港時の受入れなどの取組が実を結び、計画よりも大幅に増加している。	274,549	終了

No	事業名	事業概要	KPI	現状値 (申請時)	目標値 (H29)	実績 (H29)	達成率	分析	交付金充当額 (千円)	平成30年度 対応状況
5	秋田県立近代美術館リノベーション事業	1. 近代美術館リノベーション事業 ・ハイビジョンギャラリー機能強化(展示パネルの増設) ・ふれんどりーギャラリー機能強化(展示パネル及びピクチャーレールの設置、遮光対策、キッズルームの更新) ・展示室の改修(壁紙クロスの張替) 2. 映像設備機器整備 ・映像設備機器整備(ハイビジョンギャラリー映像機器の更新、防犯カメラの増設) ・展示室の改修(展示室及びガラスケース照明のLED化) 3. 映像データデジタル変換事業(推進交付金分) ・ハイビジョンデータの変換(デジタル化)	秋田県立近代美術館の年間入館者数(人)	92,210	94,210	61,016	64.8	本事業における改修工事の実施に伴い、約2か月間休館したことにより、入館者数は目標を下回った。	32,941	終了
6	秋田県立美術館展示機能強化事業	1. 県民ギャラリー改修 ・北側壁工事(ガラス面の遮光及び可動壁の設置) ・レクチャールーム壁工事(ガラス面(ギャラリー側)の壁化及びピクチャーレールの設置) ・ギャラリーホール壁工事(可動壁の設置及びスリットガラスの封鎖(壁化)) ・設備(空調、電気)改修(照明の更新(蛍光灯及びLEDスポットライト増設)) ・結露対策(送風機の設置) 2. 館内導線改修 ・2階ラウンジ等改修(書棚の可動化及び自動ドアの設置)	秋田県立美術館の年間入館者数(人)	124,135	129,135	85,937	66.5	本事業における改修工事の実施に伴い、約3か月間休館したことにより、入館者数は目標を下回った。	38,543	終了
地方創生拠点整備交付金計									933,668	